

目次

Executive Summary	4
はじめにー米国の司法と製造物責任（以下「PL」）のリビュー	5
(1) 米国司法環境	5
(2) 米国 PL.....	7
(3) 2016 年米国トップ 100 評決中の PL 訴訟.....	12
(4) 複数当事者 PL 訴訟における当事者間の関係	13
(5) 被告当事者間の責任の分担	15
1. PL リスク管理上の注意点	18
(1) 製品安全管理上の問題.....	20
(2) 事業者間の契約関係と法的問題.....	23
(3) 訴訟防御と協働の問題.....	27
2. PL 訴訟対応における一般的係争点	29
(1) 完成品製造者と部品製造者間の一般的な係争点.....	30
(2) 「部品製造者理論」を巡る PL 訴訟の事例紹介.....	30
3. PL 訴訟解決（和解、評決）における責任配分	38
(1) 和解、評決の責任配分における責任決定要因	38
(2) 完成品製造者と部品製造者間の和解、評決事例.....	38
4. リコール損失に関わる係争	43
(1) 製品リコールによる損害	43
(2) 製品リコールによる損害を求償する訴因（“Cause of action”）	43
(3) 製品リコール関連訴訟事例	47
(4) 製品リコール関連保険請求訴訟事例.....	47
5. 所謂「不良完成品損害」に関わる係争	52
(1) 所謂「不良完成品損害」とは何か	52
(2) 不良完成品損害の例	53
(3) 不良完成品損害を巡る訴訟例.....	53
6. 結び ～リスク管理観点からの考察～	55
(1) 完成品に関わる製品由来リスク（PL、リコール）に関わる伝統的アプローチ	55
(2) 完成品に関わる製品由来リスクに対する現代的アプローチ	55
(3) 製品由来リスクに対する現代的アプローチを可能とするリスク管理手法	56
(4) 企業のリスク管理としての製品安全管理態勢.....	57

巻末：[参考 URL](#)

[参考資料](#)